

県立コザ高等学校 芸術科（美術Ⅰ）シラバス

教科名：芸術 科目名：美術Ⅰ	担当者：宮里義行
履修学年：1年（芸術選択）	単位数：2単位
目 標	絵画・デザイン・立体・工芸などの幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 （表現） ア デッサンや色彩・構成、材料や用具の生かし方などの技能 イ 意図に応じた多様な表現方法の工夫 ウ 表現形式の工夫と創造的な表現の構想 エ 機能と美しさや楽しさを考えた主題の生成 （鑑賞） ア 美術作品のよさや美しさ イ 作者の心情や意図と表現の工夫 ウ 生活や地域、自然と美術との関係 エ 日本や沖縄、または西洋の歴史と表現の特質
教 材	教科書： 光村図書 美術Ⅰ その他： 図録各種、参考図書、プリント教材等
授業方法及び形態	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や図録、資料集などの視聴覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。 ・演習的な簡易作品の制作からスケッチやデッサン、平面や立体等の長期的計画による課題作品の制作など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行う。 ・作品制作の課題が提示されれば、各自資料及び材料等を収集し、アイデアスケッチ等の制作計画を綿密に行うこと。 ・作品提出の締切厳守を心がけること。そのためには、授業中での真剣な取り組みが必要であり、必要に応じて課外制作によって対応すること。 ・夏休みの宿題があります。
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 観点別評価に応じた実技課題（作品制作）の評価（約70%） 2 定期考査の得点や宿題・プリント等の提出物の評価（約30%） 3 毎授業の学習意欲や態度及び出席状況 <p>＜観点別評価＞</p> <ol style="list-style-type: none"> I 美術に親しみ、自ら進んで表現や鑑賞に取り組めたか。 II 感じたことや考えたことから豊かに発想し表現できたか。 III 表現技法の技能を高めたり、新しい技法を創意工夫できたか。 IV 作品の良さや美しさを感じ取ったり味わったりすることができたか。
担当者より	美術を選択した皆さん。ようこそ県立コザ高校へ！そして美術の授業へ！ 美術とは、別の言葉で「造形」ともいいます。形を造ると書きます。平面や立体を問わず形を造るのです。目の前にある景色の形を写し取るだけではなく、自ら形を生み出していく。これが美術の本質です。ですから、「絵を描くのが苦手だ」という人でも、どんな形でもいいから新しい形を造るという意識を持って頑張ってください。 本校では、芸術を学ぶ期間は、選択する類型によって変わってきます。2年で理系を選択する生徒は1年間。文系を選択する生徒は2年間です。いずれの類型でも3年生の選択科目で選択することも可能ですから、芸大・美大を考えている生徒は3年生で美術Ⅲも選択して受講して下さい。 楽しく個性的に創造性を発揮して美術を楽しんでいきましょう。

美術Ⅰ 年間学習指導計画

学期 月	時 数	単元名・課題名	到達目標 学習のねらい
一 学 期	4月	2 ・オリエンテーション ・自己紹介	・学習のねらいと年間計画を学ぶ ・絵を描く事の楽しさを感じる
	5月	2 ・人物クロッキー	・デッサンの基本と形態の捉え方を学ぶ
		4 ・鉛筆デッサン 鉛筆による明暗や量感の表現	・素早く対象を的確に描く ・色々な視点で人体プロポーションと均衡を学ぶ
	6月	4 ・美術用語と画材の学習 アクリル絵の具の表現技法 ・色彩理論 色の三属性や三原色、 色の対比やトーン学習 色彩心理とカラーコーディネート	・美術用語を正しく理解する ・アクリル絵具の性質と使用方法を学ぶ ・色彩について知識理解を深める ・色彩と光が日常生活と深く関わっていることを理解する ・色彩心理の基礎を学ぶ
		8 ・絵画制作（静物画～身近なものを描く）	・静物画・風景画の制作を通して、絵画の表現技法や構図・レイアウトを学ぶ ・物の形を正確に捉える ・印象派を学び、光と色彩の関係を理解し表現する
		7月	4 ・工芸～沖縄の陶芸 陶芸の制作過程の学習 手びねりによる湯飲みの制作
8月	2 ・読書感想画	・読書感想画の描き方 描写と配置の方法	
二 学 期	8月	・読書感想画	・夏休みの宿題として読書感想画を仕上げる ・読書の感動を絵画で表現する技術を追求
	9月	10 ・篆刻と色紙絵 好きな言葉と水彩画を構成した色紙画に篆刻印で押印し仕上げる	・篆刻の技法と水彩画の技法を学ぶ。 ・日本画の特徴を学び、遠近法や構図など西洋画との相違と踏まえながら、伝統的な東洋画法を習得し日本文化を尊重する。
	10月	8 ・レタリング 基本書体とエレメントの学習 好きな言葉を基本書体で描く	・ゴシック体・明朝体の基本を学ぶ ・文字のプロポーションを学ぶ
	11月 12月	12 ・デザイン（ポスターの制作） 各種ポスターの内容を選択する。（環境緑化、交通安全、文化財保護など）	・視覚伝達としてのポスターの意義や役割を理解し表現する。 ・視点や構図などのアイデアやコンセプトの重要性を理解し、個性や創造性を高める。 ・作成計画を綿密に行い、作成期限の厳守など実際のデザインの現場を想定した授業計画を展開する。
	12月	2 ・スクラッチ絵画 スクラッチ技法による絵画表現を追求する	・対象をよく観察し表現する ・スクラッチによる線描法を修得する
三 学 期	1月	4 ・スクラッチ絵画	
	2月	6 ・樹脂工芸（封入オブジェ～ペーパーウェイトの制作）	・新しい素材の体験と利用 ・工芸が生活と密着し、豊かな精神をはぐくむものであることを考える。
	3月	2 ・学年末の反省 鑑賞・反省・評価	・学年末を振り返ることで反省課題を確認し美術Ⅱの学習活動に役立てる
	計	70	

